



NO. 235

2013. 1. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町 12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 笹野井 庸夫
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

新たなスタートの年を迎えて

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
理事長 笹野井 庸夫

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

大阪市ご当局をはじめ関係機関および関係者の皆様、そして当法人会員各位のみなさまには、お健やかに新年をお迎えになられたことと思います。本年も育成会の運営並びに諸活動に温かいご支援ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

当法人は、当時の大阪知的障害者育成会（現：大阪手をつなぐ育成会）より3施設（東育成園、港育成園ならびに港第二育成園）の財産分与を受け、平成7年12月に社会福祉法人としてスタートしました。その後、施設としては平成9年2月には地域生活支援センターを開所、同年10月にはワークスいけじまを開所、平成11年4月には、福島第一育成園、福島第二育成園を開所しました。併せて、育成会活動もその歴史の中で、大阪精神薄弱者育成会、大阪知的障害者育成会、大阪市知的障害者育成会と名称変更や組織変更の中、理念を脈々と受け継いできました。

そのような歴史の中、今回、「社会福祉法人大阪市手をつなぐ育成会」として平成24年12月12日付けで名称変更をさせて頂くこととなりました。

今後は新たな気持ちで今一度この機会に会員全体の「絆」を深めていきたいと感じます。全日本育成会には、正会員として全国で政令都市を含めて56箇所の事務局が有り、会員総数232,105名の大きな組織です。今後も親として育成会活動の充実はもとより子供達が地域で安心して暮らしていける「共生社会」を積極的に進めていきたいと思っています。本年は地域生活の支援体系である「障害者総合支援法」が平成25年4月1日に施行されるという、障がい者にとって重要な制度改革の年になります。その上で、昨年の政権交代により私たちの生活基盤を支える障がい者

施策全般の充実を今以上願っていききたいと思います。

また、大阪市育成会として現在様々な課題を抱えており、これを機会に本格的な課題検討を行っていきます。

ご存知のとおり大阪市育成会は施設経営者ならびに会員組織としての二面性を有しており、課題についても同じように2種類あります。

まず、会員組織としての育成会の課題としては次のものが挙げられます。

- ・会員ならびに支部のあり方
- ・会員組織としての意思決定プロセス
- ・現行の部会体制の見直し
- ・会員の事業所に対する支援方法
- ・本人活動支援の実施
- ・高齢化に向けた取り組み
- ・学齢世代へのアプローチ方法
- ・近い将来に向けた準備

次に、施設経営者としての育成会としての課題としては次のものが挙げられます。

- ・施設の形態について
- ・事業利用者に対する満足度の把握
- ・施設で現在実施している事業の見直し
- ・職員採用を含めた人材育成
- ・職員に対する勤務評価の導入
- ・職階体系の見直し
- ・法人本部と施設の連携方法

更には、会員組織の育成会と施設経営者としての育成会との連携方法についても検討を要することと認識しています。

このような多岐に渡る課題を抱えている現在の育成会ではありますが、新たなステージへのスタートとなるにあたり生まれ変わっていきたくと考えております。

最後になりましたが、皆様の更なる飛躍とご健勝ならびにご多幸を祈念いたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。